

みなさんこんにちは！日本共産党前県議会議員のみわ由美です。いよいよ東京都議会議員選挙はあさってが投票日です。暮らしと日本の未来がかかった参議院選挙まであと一カ月となりました。景気よくしての願い日本共産党に。原発なくせ・憲法守れの願い、日本共産党にお寄せ下さい。

参議院千葉選挙区からは、36歳寺尾さとしががんばります。若さ優しさ行動力抜群の日本共産党寺尾さとしを国会へ、そして全国どこでも一票が全て議席に結びつく比例代表選挙では日本共産党を今度こそ躍進させて下さい。初めに心よりお願い申し上げます。

皆さん、安倍内閣が誕生して半年がたちましたが、(経済・原発・憲法)あらゆる分野で国民の実感とはかけ離れた暴走が始まっているのではないのでしょうか。

まず暮らしと景気の問題ではどうでしょうか。「アベノミクスでいいことありましたか？」先日あるお宅で伺いましたら、こっちへ上がれと奥に通され、電気代も節約された暗い部屋で、ご自分の僅かな年金で無年金のお姉さまを養っておられるご苦勞を語って下さいました。痛む足をさすりながら、「お金がないから、医者に行くのを半分にしてる」と涙目で訴え／残り僅かな貯金通帳を私に示され、私、ホントに胸が詰まりました。

「どこがアベノミクスか。年金は減る。若いものの給料は減る。なのに物価は上がる。消費税もあげる。生活保護は切ると言う。今から死ぬと言われてるのと同じじゃないか。こんな政治は改めてもらいたい」こう、切々とおっしゃられました。

いったい何故こうなるのか。アベノミクスとは何でしょうか。株高で一握りの富裕層には巨額の富が転がり込んだ、大企業の内部留保は10兆円も増えた、ユニクロの社長などはドンドン儲かって時間給にして2億数千万円もの莫大な収入を得てるという。／しかし一方、例えばユニクロの新入社員などはわずか三年で半分以上が辞めていく。心の病でボロボロに使いつぶされていく若い人が後を絶たない・・・こんなブラック企業がはびこる国で日本は元気になれるのでしょうか。日本じゅうで賃金や年金が下がり続ける、大多数の国民の所得と元気が奪われる、これがアベノミクスの実態ではないのでしょうか。

皆さん、そうなんです。もうお気づきでしょう。アベノミクスには国民の所得を高める矢は一本もありません。金融緩和、財政出動、成長戦略・・・どのメニューもかつての古い失敗策ばかり。富裕層や大企業の所得を高める矢ばかりだから、待っても待っても庶民には回って来ない。ところが皆さん、政治家は何をしているでしょう。民主党は「心から賛成する」維新も「共感を覚える」みんなの党も「国家経営として最良の策だ」アベノミクスをほめちぎる政党ばかり。何の反省もなくこのまま消費税増税と社会保障の大改悪に突っ走られたら、暮らしも経済も、ますます壊されてしまう。

皆さん今度の参議院選挙でこのアベノミクスの暴走に、国民の皆さんと日本共産党で一緒にストップをかけようではありませんか。■第一に日本共産党は、危険なアベノミク

スの暴走と消費税の大増税をキッパリ中止させます。■第二に大企業の内部留保の一部を活用させて賃上げと安定した雇用、中小企業支援のルールをつくります。■第三に社会保障の削減路線をやめさせ、現役世代も高齢者も安心できる制度に再生拡充させます。財源あります。■第四に、復興予算の流用などとんでもない。頑張る福島、東北。大震災からの復興を最優先課題に取り組みます。

賃上げと雇用拡大、社会保障の充実で国民の所得を増やす日本共産党の提案、中小企業も元気にして経済の安定的な成長をめざす日本共産党の提案、ご一緒に皆さん、あとおしして下さい。実現のためには大きな議席が必要です。アベノミクスでない新しい景気対策を提案し行動する日本共産党を、大きく大きく伸ばして頂き、一緒に、国民の元気、中小企業の元気を取り戻そうではありませんか。日本共産党へのご支援よろしくお願い致します。

最後にみなさん、いま政党、政治家のありかたが、真剣に問われているのではないでしょうか。自民党の高市早苗政調会長が、福島被災地の方の苦しみを逆なでするような発言をしました。橋本維新代表の慰安婦発言・暴言も許せません。しかし、重大なのは、このどちらの発言も安倍首相は間違いだと認めていないこと、根っこは同じだということではないでしょうか。

いま安倍首相は、福島の現実にも原発の危険性にも眼をつむり、メーカーと一緒に頑張って原発輸出のトップセールスと再稼働に走っています。この暴走を止められるのは、政党ではやはり、企業献金も原発マネーも受け取らない日本共産党、被災地や松戸でも放射能の測定や除染の先頭に立ってきた日本共産党ではないです。また、安倍首相は、憲法9条を変えて国防軍をつくり日本を海外で戦争する国に、そのためには96条を変えて時の権力者の都合でたやすく憲法を変えられる国にしよう・・・この暴走を止められるのも、政党では、戦前から命がけで侵略戦争反対を貫き憲法を守り抜いてきた日本共産党ではないでしょうか。

今、無党派の方が増えていますが国民の皆様の大きなお力と、そして政党ではスジを通す党、ブレナイ党日本共産党が、力を合わせてこそ、今の政治を変えることが出来るのではないのでしょうか。メディアでも国会論戦でも保守層の中からも、今の政治、「自民党対日本共産党の対決」と、注目を頂いております。今度こそ、新しい政治をと願うあなたの一票を、日本共産党に託して下さい。日本共産党を伸ばして下さい。

私みわ由美は、再来年の県議会議員選挙で再びがんばります。最後に重ねて来るべき参議院選挙では、寺尾さとしと日本共産党へと、ご支持ご支援、重ねてお願い致します。私からの訴えとさせていただきます。ありがとうございました。

みわ由美 2013年 6月21日の訴え